

# 大規模栽培に対応した麦改良播種機の開発

麦整地まき普通栽培は、ほ場の全面を耕うん、碎土、整地した後、まき幅15cm、うね幅45cmには種する栽培方法です。品質の高い麦生産が実施できるため、県北部を中心に古くから行われていますが、大規模栽培に適した機械の開発が遅れていました。

そこで、機械メーカーや麦作生産者と共同で、大規模麦経営や集落営農で活用できる播種機を開発しました。市販ハローシーダの種子・肥料ホップの容量拡大をはじめとする様々な改良を行い、30a無補給の連続作業が可能となり、追肥や除草、中耕、土入れなどの管理作業が容易になりました。



耕うん幅 2,200mm

肥料容量 50L

種子容量 10L

まき幅 150mm

鎮圧ローラー幅 2,200mm

ほ場作業量 27.7a / 時

市販ハローシーダーを改良した  
麦整地まき用播種機



ホップ容量  
の拡大で  
30a 連続作業



種子拡散板  
改良で播種  
精度向上



ローラー  
アーム強化で  
大規模経営向  
耐久性確保



補給作業用  
ステップで  
作業性向上